

ねらった こさに するには ①

小6／表に数字が入った見本（5種の操作を1問ずつ）

なまえ _____

ひづけ _____

食塩水の問題を、表（塩・水・全体・こさ）に整理して ときます。
水を加える／じょう発させる と、塩の重さは変わりません。塩を加えると、水の重さは変わりません。
はじめと あとで 変わらない量を 考えてから 表を うめ、こたえを 書きましょう。

① 8%の食塩水300gがある。何gの水を加えると5%になるか。

	塩	水	全体	こさ
はじめ			300	8
あと				5

変わらない量：

こたえ：

② 4%の食塩水400gを熱して水をじょう発させ、8%にしたい。何gじょう発させるか。

	塩	水	全体	こさ
はじめ			400	4
あと				8

変わらない量：

こたえ：

③ 5%の食塩水180gに食塩を加えて10%にしたい。何gの食塩を加えるか。

	塩	水	全体	こさ
はじめ			180	5
あと				10

変わらない量：

こたえ：

④ 15%の食塩水200gと、こさの分からない食塩水300gをまぜたら12%になった。まぜた食塩水のこさは何%か。

	塩	水	全体	こさ
液A			200	15
液B(相手)			300	
まぜた後				12

こたえ：

⑤ 5%の食塩水200gに食塩20gを加え、さらに水も加えて10%にしたい。何gの水を加えるか。

	塩	水	全体	こさ
はじめ			200	5
あと				10

こたえ：



ねらった こさにするには ①【こたえ】

小6／表に数字が入った見本（5種の操作を1問ずつ）

なまえ _____

ひづけ _____

食塩水の問題を、表（塩・水・全体・こさ）に整理して ときます。
水を加える／じょう発させる と、塩の重さは変わりません。塩を加えると、水の重さは変わりません。
はじめと あとで 変わらない量を 考えてから 表を うめ、こたえを 書きましょう。

① 8%の食塩水300gがある。何gの水を加えると5%になるか。

	塩	水	全体	こさ
はじめ	24	276	300	8
あと	24	456	480	5

変わらない量：
塩（とけている 食塩の重さ）

こたえ：

180g

式：塩＝300×8%＝24g（かわらない） → 全体＝24÷5%＝480g → 水＝480－300＝180g

② 4%の食塩水400gを熱して水をじょう発させ、8%にしたい。何gじょう発させるか。

	塩	水	全体	こさ
はじめ	16	384	400	4
あと	16	184	200	8

変わらない量：
塩（とけている 食塩の重さ）

こたえ：

200g

式：塩＝400×4%＝16g（かわらない） → 全体＝16÷8%＝200g → じょう発＝400－200＝200g

③ 5%の食塩水180gに食塩を加えて10%にしたい。何gの食塩を加えるか。

	塩	水	全体	こさ
はじめ	9	171	180	5
あと	19	171	190	10

変わらない量：
水の重さ

こたえ：

10g

式：水＝180×(1－5%)＝171g（かわらない） → 全体＝171÷(1－10%)＝190g → 塩＝190－180＝10g

④ 15%の食塩水200gと、こさの分からない食塩水300gをまぜたら12%になった。まぜた食塩水のこさは何%か。

	塩	水	全体	こさ
液A	30	170	200	15
液B(相手)	30	270	300	10
まぜた後	60	440	500	12

こたえ：

10%

式：全体の重さ＝200＋300＝500g → 全体の塩＝500×12%＝60g → 液Aの塩＝200×15%＝30g → 液Bの塩＝60－30＝30g → 液Bのこさ＝30÷300＝0.1 → 0.1×100＝10%

⑤ 5%の食塩水200gに食塩20gを加え、さらに水も加えて10%にしたい。何gの水を加えるか。

	塩	水	全体	こさ
はじめ	10	190	200	5
あと	30	270	300	10

こたえ：

80g

式：塩＝200×5%＝10g → あとの塩＝10＋20＝30g → 全体＝30÷10%＝300g → ふえた量＝300－200＝100g → 水＝100－20＝80g